

農業の振興について

質問…6月補正予算の中で500万円ほど観光振興の予算が付いた。市長は郷土料理の発掘に意欲を示されたがその内容と進捗状況は。

回答…国の外郭団体から合併した自治体に対し、地域活性化を目的とした事業として10割の補助がついた。外から誘客できる仕掛けの中で、農家が元気になるためには何がいいかと議論した中から、自給自足パーティーを計画した。基本的には家庭の料理を全面に出してもらう。また、ひとつのものをやるのではなく、講演会・展示会など盛り上げながらいろいろなものやっつけていきたい。これから実行委員会をつくって進めるので、皆さんからいろいろご意見をいただきたい。

質問…農業の作り手の高齢化と耕作地が荒れている状況がある。耕作地を作りたい人に仲介するとい

教育関係について

質問…最近地震が多発しているが、学校の耐震調査をしているか。

回答…白沢中学校の体育館は一部補強が必要だという結果が出ているが、白沢地区については調査済で耐震度もクリアしている。本宮地区では、耐震調査、耐震工事をしなければならぬ施設がある。平成21年度に岩根小学校の校舎について耐震補強工事をする。今後できるだけはやく工事ができるように調査を進めたい。

質問…岩根の場合は、子どもが増えている。子どもたちのため、児童館を作ってもらいたい。

回答…岩根の現状は理解している。児童館の建設については、予算の問題もある。岩根地区では、幼稚園・小学校の増築、耐震化、体育館、校庭の問題がある。総合的に考えてやっつけていくが、現段階ではどのようにやっつけていくのか

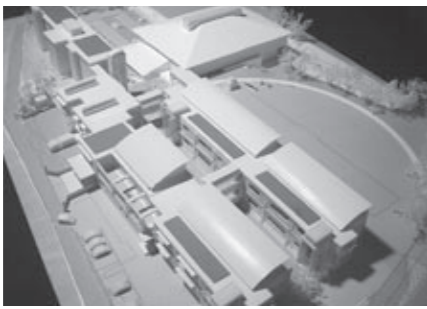
うことも考えては。また、高齢者と若い人たちに情報交換がないので、どのような農作業をすればよいか、お互い何らかの形で話をしないと農業は衰退の一步だと思ふ。

回答…遊休桑園、耕作放棄地など残念ながら大変な面積がある。結論はすぐには出ないが、基本的に農家が元気にならなければならぬ。農協とタイアップしながら市として東京での農産物販売に取り組んでいる。また、学校給食センターで5、000人分の給食を毎日つくる、これを地元の食材でまかなえないかということをやっている。農協の直売所・白沢の直売所・大玉の直売所、あと本宮の金曜夕市などをお願いしながら、3年後には地元野菜の使用率を70パーセントくらいにしたい。米は全部地元の米を使っている。白沢地区の自校式給食では2学期から本宮給食センターで炊飯することになった。できるだけ多くの野菜を地元の農家にお世話になりたい。また、首都圏にも積極的に

固まっていない。皆さんの考えも聞いて、全体的な計画の中で順番を決めて進めていきたい。

質問…本宮小学校の改築は、国・県・市でどのような負担割合になるか。

回答…本宮小学校の改築にかかる金額は、13億7千万円の予定。財源は、国の交付金約2億1千万円と市の基金積み立て約3億8千万円あり、残りは、起債で約7億8千万円の借入れを予定している。平成22年度までの工事となる。



▲本宮小学校の完成予想パース

質問…学校で着る体操着が高すぎる。親の負担を減らしてもらいたい。

回答…体操着をつくっている組合と保護者の方と学校

販売していく。こういうことが当面PRできることと考える。すぐには解決できないが、皆さんの知恵をかりながら取り組んでいきたい。

質問…白沢村時代に福舞里プランの構想があった。合併後、平成21年から5年間の間に市としてやろうとしているのはどの程度の構想なのか。

回答…遊休地対策をメインにしながら進めていく。実現するには国の補助が必要であることから、国と協議している。池の補修、水路の整備、ぶどう栽培のための支援と畑地の整備などが主な内容である。9月までにプランを策定し、国に予算獲得のために要望する準備を進めている。

生活・環境について

質問…本宮市は地球温暖化対策について計画はあるか。

回答…計画はまだない。市で対策をとらなければならぬことになっているの

が話をしながら各学校の体操着が決まっている。学校と相談しながらできるだけ負担をかけないよう検討していきたい。

質問…高木地区公民館の耐震性は。また一昨年、体育館にシロアリが発生したが。

回答…耐震性については正確な診断は実施していない。耐震調査は学校施設を優先している。という状況。シロアリの発生あれば即退治する。

質問…本宮の学校給食の材料に占める地場産品の割合は。

回答…正確ではないが、1割か2割程度と考える。米については100パーセント地元のものを使っている。

保健福祉について

質問…介護保険料について白沢と本宮の差は。

回答…白沢と本宮では差がある。今年度中に第4期介護保険計画を策定するよう準備している。平成

で、市の取り組みを策定中である。ご理解をいただきたい。

質問…阿武隈川について、市では水質調査をしているか。

回答…市独自に阿武隈川の水質調査はしていない。国土交通省は年に何回か調査している。これについてはホームページで発表されており、ここ10年間は、わずかながら水質は良くなっている。これからは一般家庭からの生活排水も含めて、なるべく排出しないような広報をしていきたい。



▲市の中央を流れる阿武隈川

意見…不法投棄について、防災無線など広報していただきたい。

回答…事務的にどのように対

21年度に調整したいと考えている。なお、国保税なども違っているが、時間をかけて調整する方針となっている。

質問…高齢者のひとり暮らしが多い。地域によっては、世帯数も少なくなっているが福祉対策は。

回答…元気で長生きな高齢者でいるため、健康診査を受けやすくし早期発見・早期治療に結びつくよう、70歳以上の高齢者の健康診査にかかる自己負担をなくし、全額市で負担することとした。また、地域でのふれあい、生きがいづくりのため公民館を利用しやすいようトイレを洋式に改修した。

質問…乳ガン検診・子宮ガン検診など年齢を問わず受けられるように検討いただきたい。

回答…来年度以降、実施を検討させていただきたい。

～懇談会を終えて～

今回の市政懇談会では、プロジェクターを使って各分野の話題に合わせて映像で説明しました。ご覧になられた方はいかがだったでしょうか。

また、皆さんからいただいたご意見・ご要望は職員で情報の共有化を図り市政運営の参考といたします。緊急性のあるものについては、すでに関係課で対応にあたっています。

なお、市では皆さんからのご意見・ご要望を提案箱、ホームページや電子メールにより随時受け付けています。

◆問い合わせ先 秘書広報課 広報広聴係 (☎内線219)